

作成 2023-3-28 岡本雅幸

訂正 2023-4-27

1909 年明治版『讃美歌第二編 196 番』

1.

ちさきかごに もれる花
暗き家に 持ち行かば
清き色香 部屋に満ち
痛む胸も 癒されなん

～繰り返し～

愛のわざは ちさくとも
神の力 こもりゐて
闇夜なせる 世の中を
まひるよりも 楽しくせん

2.

空にまへる 鳥の歌
弱り果てし 心にも
あめのしらべ 聞かしめて
春のいのち かへらしめん

3.

「おはやう」との ひとことも
なさけ込めて いひもせば
聞ける人は 暮るるまで
急がほをもて 日をすごさん

1954 年版『讃美歌第二編 26 番』

<https://www.rcj.gr.jp/izumi/sanbi/sa2-026.html>

1.

ちいさなかごに 花を入れ
さびしい人に あげたなら
へやにかおりが 満ちあふれ
くらい胸も はれるでしょう

～繰り返し～

あいのはやは ちいさくても
かみのみ手が はたらいて
なやみのおおい 世のひとを
あかるくきよく するでしょう

2.

「おはよう」とのあいさつも
こころをこめて 交わすなら
その一日 おたがいに
よろこばしく すごすでしょう

原語歌詞

http://sanbika.net/Little_Deeds.html

1 . Just a dainty basket Filled with autumn bloom,
Yet it brought the sunshine To a darkened room;
All the week seemed brighter For those shining hours,
Laden with the sweetness Of the smiling flow'rs.

※ Chorus

Let us all be helpful; Let us live to bless;
Little deeds of kindness Magic pow'r possess.
Scatter beams of sunshine, O'er the darkest way;
Soon the midnight gloom shall change To brightest day.

2 . Just a sweet birdcarol Trilled upon the air,
Yet a heart was lightened Of its load of care;
Like a heav'nly message Seemed that little strain;
Sunshine, hope and courage All came back again;

※ Chorus

3 . Just a glad "good Morning," On a day so drear,
Yet as if by magic Skies seemed bright and clear;
And the one who heard it Passed along her way,
Smiling at the prospect Of a happy day.

※ Chorus

大塚野百合氏私訳

※ 大塚野百合『子どもの賛美歌ものがたりイエスさまいるって
ほんとかな』、教文館、P75,76 からの転載

1. 可愛いかごに秋の花を入れて
暗い部屋に置いたところ、
日の光が部屋にみちて、
その一週間心が明るかった。
微笑んでいる花の美しさに包まれた
素敵な時間をすごすことができて。

(折り返し)

皆で人の役に立つように生きよう。
皆で人を祝福するように生きよう。
小さな親切な行いは
魔法のような力がある。
太陽の光が
最も暗いところを照らすようにしよう。
そうすれば夜中の闇は消えて
最も明るい日が訪れるのだ。

二、美しい小鳥の鳴き声が響くのを聞くだけで、
心にたまっている悩みごとが軽くなる。
小鳥の鳴き声が天国からの訪れのように響き、
太陽の光、希望と勇気が戻ってくる。

三、憂鬱な日に、
楽しそうな「おはようございます」を聞くと、
魔法にかかったように
空は晴れて、澄んで見える。
それを聞いた人は
今日は幸せな日になりそうだ、と思って
微笑んで道を歩いていた。